

社会資本総合整備計画

ふくち やまし ちゆうしんし が い ち にぎ さいせいけいかく
福知山市中心市街地の賑わいの再生計画

事後評価シート

きょうとふ ふくち やまし
京都府 福知山市

平成28年12月

事後評価の評価体制	公表の方法
担当部局により評価を実施	福知山市オフィシャルホームページにて公表

計画の名称	1 福知山市中心市街地の賑わいの再生計画		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)	交付対象	京都府福知山市
計画の目標			

本地区は、福知山市の中心市街地活性化基本計画区域のほぼ中央に位置し、JR福知山駅・KTR（北近畿タンゴ鉄道）福知山駅やバスターミナルがあり、交通の要衝としてその役割を担ってきた。しかし、近年の車社会の発達や商業を取り巻く環境の変化等により、公共交通機関の利用者の減少、郊外型大型商業施設の立地など、中心市街地の衰退・空洞化が深刻となっている。このため、第4次福知山市総合計画の基幹事業として、図書館を中心とした教育・文化などの生涯学習機能を整備し、市民の交流の促進、まちの賑わいの創出を図り、また、図書館・中央公民館の空きスペースに中央保健福祉センターを配置し、同センターの集客力や、市役所と近接することによる保健と福祉の連携強化を図り、市民の利便性の向上に繋げ、中心市街地の再生・活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均値） H22年度 3,786人 → H27年度 4,200人 ※福知山市中心市街地活性化基本計画より（目標値：平成22年度実績数値の10%増）
- ② （仮称）市民交流プラザふくちやまの主要施設、図書館の来館者数（年間総人数） H21 56,603人 → H27年度 169,809人 ※（仮称）市民交流プラザふくちやま基本計画より（目標値：平成21年度実績数値の3倍）

定量的指標の定義及び算定式

- ① 中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均値） H22年度 3,786人 → H27年度 4,200人
※福知山市中心市街地活性化基本計画より（目標値：平成22年度実績数値の10%増）
- ② （仮称）市民交流プラザふくちやまの主要施設、図書館の来館者数（年間総人数） H21 56,603人 → H27年度 169,809人
※（仮称）市民交流プラザふくちやま基本計画より（目標値：平成21年度実績数値の3倍）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値	中間目標値	最終目標値	
(H23当初)	(H25末)	(H27末)	
3,786人	3,966人	4,200人	
56,603人	169,809人	169,809人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3404百万円	A	3288百万円	B		C	116百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.4%
施行全体事業費	合計 (A+B+C)	1958百万円	A	1928百万円	B		C	30百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.5%

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	再開発	一般	福知山市	直接	福知山市	福知山駅北周辺地区暮らし・にぎわい再生事業（（仮称）市民交流プラザふくちやま）	図書館、中央公民館等 A=0.5ha	福知山市						2,840	
														1,496	
1-A-2	施設整備	一般	福知山市	直接	福知山市	福知山駅北周辺地区暮らし・にぎわい再生事業（（仮称）市民会館・中央公民館）	市民ホール、中央保健福祉センター等 A=0.2ha	福知山市						448	
														432	
合計												3,288			
合計												1,928			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	福知山市	直接	福知山市	図書館システム整備事業	自動貸出機、盗難防止システムほか図書館システムの整備	福知山市						68	
													30		
1-C-2	施設整備	一般	福知山市	直接	福知山市	（仮称）中央保健福祉センター改修事業	現中央保健福祉センターの男女共同参画センターへの転用	福知山市						48	実施せず
													0		
合計													116		
合計													30		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-C-1	（仮称）市民交流プラザふくちやまの主要機能である図書館に、自動貸出機及び盗難防止システムを導入することにより、利用者の利便性の向上を図ることで、来館者の増加及びまちなかの賑わい創出において効果促進を図る。														
1-C-2	保健福祉センター機能の図書館跡地への移転後、男女共同参画センター及び医療関係機能を設置することにより、行政機能の再配置を行ない中心市街地の集客・回遊性の確保において効果促進を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 事業計画全体の目標達成状況		<p>図書館・中央公民館を中心とした教育・文化等の生涯学習拠点として「市民交流プラザふくちやま」を整備し、平成26年6月にオープンした。また、備えた整備し、市民の交流の促進、まちの賑わいの創出を図り、また、図書館・中央公民館の空きスペースには中央保健福祉センター及び福知山市男女共同参画センターを配置し、老朽化した4階ホールの改修を行い、人権・保健の拠点施設「ハピネスふくちやま」を平成27年8月にオープンした。</p> <p>「市民交流プラザふくちやま」全体では年間431,638人（平成27年度）という多くの来館者があり、周辺商店街の賑わい創出に大きく寄与している。また、「ハピネスふくちやま」においては、中央保険福祉センターが市役所庁舎にある福祉関係部署に近接することで、保健と福祉の円滑な連携が可能となるとともに、懸案であったセンター利用者の駐車場が確保され市民の利便性が向上した。</p>			
II 定量的指標の達成状況	中心市街地の歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均値）	最終目標値	4,200人	目標値と実績値に差が出た要因	目標値は、中心市街地活性化基本計画で定めた、中心市街地7地点での通行量であり、他地点での減少の影響により目標値に達しなかった。今回、施設整備を行った「市民交流プラザふくちやま」及び「ハピネスふくちやま」に近接する調査地点においては、113人の増加となっている。
		最終実績値	3,532人		
	（仮称）市民交流プラザふくちやまの主要施設（図書館）の来館者数（年間総人数）	最終目標値	169,809人	目標値と実績値に差が出た要因	福知山駅前という交通至便地への立地や蔵書数の増加はもとより、閲覧ブースの充実による貸し出しによらない閲覧のみの利用者の増加や絵本の読み聞かせ会などのイベント開催等が来館者数の増に寄与したと考えられる。
		最終実績値	258,315人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況（必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）	
<p>本計画上の定量的指標のうち「中心市街地の歩行者・自転車通行量」については、目標値を達成できていないものの、整備した2施設はいずれも施設機能の充実や利便性の向上等が図られ、周辺の賑わい創出に寄与するに足るだけの多くの市民に利用されている。今後も、施設そのものの目的を果たすために適切な維持管理に努めるとともに、利用者を施設周辺へ誘導する仕掛けを模索し、賑わい創出の拠点としての一層の機能向上を図っていく。</p>	

(参考図面)

計画の名称	1 福知山市中心市街地の賑わいの再生計画	交付対象	京都府福知山市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)		

